

岩城 晶巳 議員（代表質問）

1 公共施設のあり方について

- ・ 平成27年に議会より「公共施設のあり方」について提言書を提出した、平成28年には滑川市で「滑川市公共施設等総合管理計画」をまとめられた。また、先月22日総務文教消防委員会で伊丹市の「公共施設マネジメントについて」視察をした。これらを参考に問う。
 - ア 平成26年度～30年度における公共施設の修繕費はどの程度か。
 - イ この5年間で統廃合された公共施設はあるか。また、これから統廃合を予定している公共施設はなにか。
 - ウ 中滑川駅前整備、西部小学校区放課後児童クラブ施設など大きなプロジェクトが検討されている。公共施設の統廃合をせず大丈夫か。
 - エ 全国の自治体の統計によれば、伊丹市は、人口1人当たりの公共施設の面積3.42m²、滑川市の面積は5.26m²である。10年後人口が10%減るので、床面積も10%落とすとしている。滑川市はどうなのか。
 - オ 滑川市一番の売り、第2子保育料無料化は将来的にこのままで存続できるのか。

2 瀧見光について

- ・ 2隻体制で2年目、そして氷見航路の開設もされ、夏を迎えて観光も正念場になるが、その中で問う。
 - ア 今年初めて市場見学を企画し、見学者は1,602人とのことだったが、反応はどうだったか。
 - イ 外国人観光客はどの程度か。またどの国からの観光客か。
 - ウ 滑川市内での宿泊人数は把握しているか。
 - エ 氷見への航路が開設されたが、申し込みの状況は。
 - オ 市外の小学校、中学校、高校から富山湾岸クルージングの申し込みはあるか。
 - カ 心配されるのは、ここ数年にわたる漁獲量の低迷である。専門家の調査が必要ではないか。
 - キ 滑川市が「台湾美食展」にこの夏参加とのこと。347万円計上されている。詳しい説明をお願いしたい。

3 N e t 3 の事業について

- N e t 3 の事業は、ご存じのように企業会計ベースでは赤字経営が続いているおり、持続可能性が懸念されていた。先般5月31日の事業者からの説明では、試算との断りであったが、分かりやすく言えば、今まで張りめぐらせた伝送路が耐用年数が過ぎれば腐食してしまい、これを張り替えるのに多額の費用がかかる。国の助成はなく、市・町では負担が大きすぎる。また税の公平さから簡単にはいかない。との苦渋の説明であった。

ア この事業のスタート時に、国からの説明はどうだったか。

イ 滑川市・上市町・立山町は今までどんな議論をしてきたのか。

ウ 全国的には、民営で行っている会社が多いと聞くがどの程度か。

エ 加入者に迷惑はかけられない、どんな方法であれ、存続が大前提と考えるが、決意を述べていただきたい。

4 安全安心な暮らしを目指して

(1) 水道管の老朽化について

ア 古い埋設管はまだどの程度残っているか。

イ 細くて圧が弱い地域はまだあるのか。あるのであればこれからの対応策は。

ウ 鉛給水管引き込み件数は10年前で3,000栓ぐらいと聞いていたが、現在どうなったか。

(2) 通学路整備について

ア 平成24年8月に「通学路の安全点検」21箇所中19箇所改善されたとのこと。残り2箇所はどうなったのか。

イ 毎年「通学路の安全点検」は実施しているとのことだが改善は徹底されているか。

ウ 大津市の事故でもわかるように、交差点は危険である。滑川市の集団登校の待ち合わせ場所が交差点の所もあり、危険ではないか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 国民健康保険について

- (1) 今回提案の条例改正の影響について
 - ア 増額になる世帯数、増額金額
 - イ 新たに軽減される世帯数、減額金額
- (2) 制度が変わったが、改めて国保の構造的な問題とはなんであったか。制度が変わって改善されてきたか。
- (3) 新制度のもとで、一般会計からの法定外繰入を解消するよう圧力が強まっている。本市では現在行われていないと認識しているが、自治体の判断によるべきではないか。一般論としてこの繰り入れをどう考えているか。
- (4) 保険者努力支援制度について
 - ・ どのような「努力」がどのように評価され、支援されるか。アメとムチにならないか。
- (5) 保険税負担の認識を問う。
 - ・ 同等の所得世帯で、例えば「協会けんぽ」世帯との比較ではどうなるか。
- (6) 県下統一の保険税(料)を目指しているようだが、それは妥当なのか。

2 子育て支援について

- (1) そもそも論だが、放課後児童クラブの目的、あり方とは。
- (2) 放課後子供教室の目的は。
- (3) 放課後児童クラブの施設についての厚労省のガイドラインについて

3 防災・減災対策について

- ・ 昨年7月の経験を踏まえて

- ア 住民への広報の改善策はどうか。
- イ 避難所の設営、運営の訓練は行ったのか。
- ウ 福祉避難所の設営、運営訓練はどうか。具体的な想定の下で、施設の協力を得て行っているか。
- エ 福祉避難所が必要な方へはどのように知らせ、利用してもらうのか。

尾崎 貴雄議員（一般質問）

1 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度導入の目的は何か。
- (2) 委託料の算定・決定はどのように行われるのか。
- (3) 東福寺野自然公園のふわふわドームの修繕問題は人災ではないのか。
- (4) 東福寺野自然公園の指定管理者である一般財団法人滑川市文化・スポーツ振興財団の臨時職員（作業員）について
 - ア 賃金は適正か。
 - イ 休日出勤手当などの支給はないのか。
 - ウ 危険作業時に保護具は支給されているのか。
 - エ 安全教育はされているのか。
 - オ 職員へのユニフォームを支給してはどうか。
 - カ 職員の健康管理はされているのか。
 - キ 社会保険の加入について
- (5) 市長が指定管理者の理事長になっているが、問題はないのか。

2 自転車保険について

- (1) 滑川市の自転車事故対策と、その周知についてどのように取り組んでいるのか。
- (2) 安全教育については、どのように取り組んでいるのか。
- (3) 市民の自転車保険の加入状況と周知について
- (4) 小中学生の自転車保険加入状況と周知について
- (5) 滑川市の自転車保険加入の促進の取り組みについて

中川 真一議員（一般質問）

1 高齢者の交通事故対策について

- (1) 自動車免許返納の状況はどうなっているのか。
- (2) 免許返納しても外出しやすい環境作りが必要と思うが、その対策はあるのか。
- (3) 重大事故は人通りの多い所や交通量の多い所で発生しているが、今一度安全点検が必要では。
- (4) アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置があることだが、検討して補助も考えてみたらどうか。
- (5) 車優先の道路整備だが、歩行者の安全は大丈夫か。
- (6) 交通安全対策を今以上に市民挙げて取り組むべきと思うが。

2 用水・側溝の安全対策について

- (1) 県内で用水や側溝に転落して高齢者が亡くなる事故が多発しているが、滑川市はどうなのか。
- (2) 市内には用水路や側溝が多くあるが、安全対策は考えているのか。
- (3) 市道や通学路に隣接している用水路や側溝も数多くあるが、安全対策（防犯灯の設置も含む）は考えているのか。

3 農業について

- (1) 農業の省力化にロボットや情報通信技術を活用するスマート農業が進められているとのことだが、滑川市内の状況はどうなのか。
- (2) 海洋深層水トマトの販売が今季5月末で58kgであったとのことだが、昨シーズンは何kgであったか。また、2棟目完成後はどのようになるのか。PR活動はされているのか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 公共施設について

- ・ 公共施設の管理体制について
 - ア 滑川市が保有する建築物や公園施設などの公共施設は、どのような組織体制で管理運営されているのか。
 - イ 各組織が管理する施設について、施設台帳にはどのような項目が記載されているのか。
 - ウ 更新の時期を迎えていると考えられる施設として、どのような施設があるか。
 - エ 市が保有する施設全体の状況を把握して、10年後、20年後、あるいは50年後を見据えて、老朽化対策、長寿命化、さらには機能再編を全局的に取り扱う部署が必要ではないかと考えるがどうか。
 - オ 公共施設のあり方を決定する時期に来ていると考えるが、市民の理解を得つつ議論を進めるためには、どのような組織で、どのような手続きを経て決定すべき、と考えているか。

2 水災害について

- ・ 市内では大規模な開発が進んでおり、農地の宅地化が進んでいる。市内の洪水対策のためにも沖田川の早期改修が望まれる。
 - ア 市内が集中豪雨に見舞われたとき、どのような状況になると予測しているのか。また、予測したシミュレーションはあるのか。
 - イ 農地の宅地化により、雨水が一気に流出するようになるのではないかと考えるが、大規模開発による排水の影響について、どのように考えているのか。
 - ウ 昭和44年の災害から50年、災害に対する備えは市民全体で取り組む必要があると考えるが、市全体の危機管理体制はどのように構築され、維持されているのか。
 - エ 農地の宅地化が進む中、市内の洪水対策にどのように取り組むのか。沖田川の早期改修に向けて、市はどのように取り組んで行くのか。

3 学区制の見直しについて

- (1) 市内の人口分布は50年前と相当変わったのではないか。現在の各小学校の児童数は5年前と比べ何人ずつ減少しているのか。5年後の児童数

を予測しているか。

- (2) 学区の見直しで児童数のバランスをはかれないか。試験的に学校選択制をとってはどうか。
- (3) 小学校の児童数が、学校にとって、児童にとって適正な規模となるよう、学区制の見直しを進める必要があるのではないか。文部科学省からの指導などないのか。

4 保育料無償化について

- ・ 無償化に伴う仕事量を考え、担当職員数の配置はどうか。新制度がスタートし、事務が繁雑になるため、職員増を図らなくてはならないのではないか。現在と新制度との仕事の違いはどれくらいか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 青雲閣改築特命担当について

- 平成31年度4月1日付の人事異動により、藤名建設部長が部長職とあわせ青雲閣改築特命担当についたが、どのような目的で充てられた役職なのか。これまでの青雲閣整備計画策定の進めかたや、組織体制に変更があるのか。

2 滑川海浜公園造成工事について

- 平成31年3月29日付で、平成31年6月末までの第1四半期公共工事の発注見通しが公表され、その中には滑川海浜公園造成工事が指名競争入札により公表された。3月定例会並びに3月の予算特別委員会でも説明はなく、5月17日、公園緑地課に確認したところ、予算書では公園管理費、都市公園等の維持管理4,156万円に含まれていると説明を受けたが、滑川海浜公園造成事業は平成31年度新規・拡充事業ではないのか。予算概要の公表に問題はなかったのか。
- 造成工事箇所は公共残土ストックヤードとしても使用されており、平成31年度新規・拡充事業での公表なり説明があった場合は、造成後も継続してストックヤードとして使用するのか、または新たなストックヤードの目処はたっているのか、など議論を交わすことが考えられたが、それらの問題はどうか。
- 平成30年12月定例会では、公共残土ストックヤードについて上田市長から「海浜公園にある公共残土の利用の一つとして盛り土を行い、海浜公園とともに海を眺められる展望台も兼ねて整備したいと考えている。」と答弁があったが、造成工事の概要・目的について問う。

3 公共施設マネジメントについて

- 次世代へと健全な公共施設等を引き継ぐために策定された、「公共施設等総合管理計画」で示している基本的な方向性は厳守され、公共施設全体は効率的、効果的にマネジメントが進められているか。
 - これまでの整備を検証し、課題としている「本市の教育・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設など、機能ごとに必要な施設を

個々に整備してきた結果、施設数の増加に伴う維持管理費増や稼働率もさまざまとなり、効率的な施設運用が行われていない状況」を人口や財政規模に見合うよう、施設機能の移転や統合、複合化の検討は進んでいるか。個々に整備していないか。

イ 「本市の教育・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設など、その時代時代に応じた施設整備を行ってきた。少子高齢化進行、生産年齢人口の減少による歳入減や社会保障費の増大も見込まれ、状況を踏まえると整備や維持補修にかかる投資的経費をこれまで以上に増額していくことは難しい状況」については、現状に応じた施設整備が優先され、投資的経費の増加をまねくリスクはないか。将来を見据えた施設マネジメントが行われていると判断されているか。

4 中滑川駅周辺地区整備基本構想について

- (1) 平成29年6月定例会において、政策における優先順位をどのように考えているかとの質問に対し、上田市長から「市民の満足度も重要ではあるが、費用対効果や安心・安全、人口減少問題を含む喫緊の課題などを総合的に勘案して実施していくかなければと考えている。」と回答があったが、今定例会に中滑川駅周辺地区整備基本構想の事業費概算が8億円から12億円と示されたが、費用対効果についての見解を問う。
- (2) 都市防災推進事業の採択をうけ、一般財源からの繰り出しじゃれぐらいになる見通しを立てているのか。また、今後の本市の財政計画に影響はないか。
- (3) 数年前から議会側からも早期の整備要望・提言が出ていたものではあるが、本当に今この基本構想を進めていくタイミングなのか。将来を見据えた、本市の抱える公共施設老朽化も考えた場合、長寿命化対策により既存施設が、使用可能であるうちにより具体的な公共施設の機能集約や、単体施設計画ではなく滑川市全体イメージを構築していくべきではないか。建設部並びに財政課では全体イメージを持っているのか。
- (4) 文化会館建設を検討していくといわれる基金も10億円までの目途がたってきただで、中期的な建設を視野に、中滑川駅周辺地区整備基本構想に市民大ホールに代わる文化会館建設を含め検討し、都市防災推進事業・都市機能まちなか立地支援の補助採択を目指すなど、複合型施設計画は、都市計画マスタープランや公共交通の利便性向上、整備基本方針の①駅前の好立地を活かした「新たな賑わい空間」の創出にもつながるのでは

ないかと考える。また、一般財源ではなく文化会館建設基金の適用であれば財政リスクも軽減できるのではないか。

角川 真人 議員（一般質問）

- ・ いくつになっても生きがいを持つて、安心して暮らせる地域づくりのための取り組みについて
- (1) 高齢者が閉じこもりがちにならずに元気に生活するための取り組みはどう進んでいるか。
 - (2) 高齢者向けの地域支援事業などをみると、運動などの機能維持のためのものが多い。もっと気軽に遊びに行くような感覚の娯楽等の企画を増やすべきではないか。
 - (3) 目や耳の衰えにより、人とのコミュニケーションができないために外出しない方もいる。補聴器の購入への助成を検討するべきではないか。
 - (4) これから施設改修や新設に合わせ、磁気ループの設置を積極的に検討してはどうか。
 - (5) 高齢者が外出で気にすることにトイレがある。散歩やウォーキングに不安なく出られるように、市内のトイレ案内のためのパンフレットなどを作成してはどうか。
 - (6) 公園や施設内のトイレに、つながるための手すりを完備すべきではないか。

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 東加積小学校について

- ・ 東加積小学校の安全対策について伺う。

2 各施設について

- (1) 大型連休期間中、児童館、東福寺野自然公園、博物館、ほたるいかミュージアムや図書館、屋内運動場の利用者数はどれだけか伺う。
- (2) 県内外からの来客で遠方からの方はどれくらいか。また、海外からの数と国別について伺う。
- (3) 各施設における利用者の声の中で（成果・改良点）についてあれば伺う。

3 コミュニティバスについて

- ・ フリー（自由）乗降制ができないかについて伺う。

4 熱中症について

- ・ 小学校での熱中症防止対策について伺う。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 東加積小学校の教育環境整備について

- (1) 複式学級解消対応の検討状況について
- (2) 小規模特認校制度指定への検討について
- (3) 複式学級解消として、市採教員を含めた教員配置の検討について
- (4) コミュニティ・スクール制度導入の検討について

2 蓼輪城の歴史探訪について

- (1) 蓼輪城の歴史的遺産としての認識について
- (2) 蓼輪城の跡地の保全整備について
- (3) 蓼輪城への山道の整備並びに案内標識の設置について
- (4) みのわ温泉、室山野用水ルート、鉱山道路、蓼輪城、弘法大師清水、護摩堂、東福寺野自然公園そして安山岩の節理やサメ等の化石の産出地としての、歴史的文化的遺産保全と観光ルートとしての検討について
- (5) 上市町との広域連携取り組みの検討について

3 N e t 3 の運営体制について

- (1) ケーブルテレビN e t 3 の運営体制の現況について
- (2) 運営体制の見直し対応のスピード感を持った意思決定プロセスについて
- (3) 伝送路のF T T H化の早期導入着手の検討について

4 中滑川駅周辺整備について

- (1) 3月定例会での提案及び基本構想と、今回提案された内容の改善・変更並びに見直しされた点について
- (2) 建物部施設について、内容的に当市並びに市民にとって、必要なものなのか見解について
- (3) 今、建物部施設を建設する理由、優先度、緊急性の有無の見解について
- (4) 時間をかけて、中長期的、多面的な角度からの分析検討の必要性についての見解は。

5 地区公民館の利用制限について

- (1) 地区公民館の利用不許可について地区の誰もが納得できる明確な理由は。
- (2) 文部科学省や県の教育委員会の指導を仰いでの、検討状況について

青山 幸生 議員（一般質問）

1 オオカワヂシャについて

- (1) 平成29年9月定例会で特定外来生物オオカワヂシャについて質問した。
最近の発生状況は。
- (2) 質問後、毎年の調査はしているか。
- (3) 市全体として特定外来生物の対策はとれるか。

2 働き方にについて

- (1) 正規職員、嘱託職員、臨時職員の有給休暇の各消化率はどうか。
- (2) 臨時職員、パート職員に予算可決を停止条件としたような雇用契約書を結んでいるか。

3 交通事故防止について

- (1) 滑川市の高齢者ドライバーの人数は。
- (2) 滑川市の運転免許自主返納の推移は。
- (3) 滑川中学校周辺道路が暗い。街灯を増設できないか。
- (4) 生徒の雨具の色について教育委員会の見解は。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 觳光振興について

（1）ほたるいか海上観光について

- ア 今シーズンから、インターネット予約を早期から行うこととしたが、個人客、団体客のニーズをどのように把握しているのか。
- イ 今シーズンは、4月中が2隻体制での運航であったが、今シーズンの運航体制について、結果をどう受けとめ、来シーズンの運航につなげていくのか。
- ウ 昨シーズンも、平日の乗船者数を増やす取り組みが必要と考えていることだったが、今シーズンはどのような取り組みを行ったのか。
- エ 更なる観光客誘致のために、国内外の旅行業者との連携が必要と考えるが見解は。

（2）富山湾岸クルージングについて

- ア 今年度ゴールデンウィーク中の乗船状況について、順調であったと伺っている。乗船客が増えた理由を、どう分析しているのか。
- イ 氷見への航路について、今シーズン以降運航するにあたり、ルール作りを、しっかりと行っているのか。

（3）台湾美食展について

- ア 約350万円の予算をかけてブース出展する費用対効果について、どう考えているのか。
- イ 今年度だけの、ブース出展なのか。
- ウ 今回も現地旅行業者へ営業に行くことだが、今後の観光客誘致への更なる取り組みをどう考えているのか。

2 コミュニティバス事業について

（1）滑川市地域公共交通網形成計画では、バスの更新について、デマンド交通や、バスの小型化など検討すべきものがある中、なぜ、車いす仕様対応のバスを購入するのか。

（2）車いす対応バスを運行するにあたり、ルートの選択、運行時間帯などニーズ調査も必要となってくると考えるが見解は。

（3）民間タクシー業者の車いす対応タクシーの購入に市が助成する。ある

いは、利用者が、安くタクシーを利用できるなど、障がい者福祉の向上のため、市として、できる取り組みがあるのではないか。

3 中滑川駅周辺整備について

- ・ 以前より、調査費を計上し、明確なコンセプトもないまま、現在に至っている。本当に市民の皆さんが必要と考える施設になるのか。

4 安全安心について

(1) 子どもたちの通学路対策について

- ア 最近の自動車は安全装置が標準整備されている。車線逸脱防止支援システムでは、道路の白線をカメラで認識し、車線の中央を走行するよう、常時ステアリング制御を行うが、市道で、子どもたちの通学路となっている路線を、歩道白線やセンターラインをしっかりと引けないか。
- イ 高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多く報道されている。後付けの誤発進防止システムの装着に補助を出すなど市として対策を今後どう進めていくのか。